

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

送信先: report@r-ict-advisor.jp

報告日 令和4年12月20日

派遣決定番号

報告回次

3日目

## 令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	ひたちなか市教育委員会		代表者名	野沢 恵子
担当者部署	指導課		連絡先電話番号	029-273-0111
担当者役職	課長補佐	担当者氏名	川上 徹行	連絡先E-mail
住所	312-8501 茨城県ひたちなか市東石川2丁目10番1号			

#### 1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	平井 聡一郎
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	講義内容が、ICTの活用から教育のデジタル化(デジタルトランスフォーメーション)はもちろん、今後の社会を児童生徒が生き抜いていくためには、探究型の学びが必須であることが参加者によく伝わる内容でした。今回は授業参観とグループ協議での助言もあり、講義内容は一方的な伝達の形にならざるを得ませんでしたが、アンケートフォームを使った受講者の声を拾ってくださり、後日フィードバックをしていただける予定です。今回も、授業者の意識転換(学習者と双方向性のある学び、学習者の意見を授業にフィードバックする)も考えさせられる内容でした。
アドバイザーへの要望事項	可能ならば、次年度もよろしく願いいたします。

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	期日・支援内容の変更あり		
	令和4年12月20日	支援・助言(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
			13時00分	17時00分	
			活動時間(分)	240	
3-2. 派遣場所	会場名	美乃浜学園	最寄駅	海浜鉄道美乃浜学園駅	
	所在地	ひたちなか市磯崎町5135	最寄駅からの交通手段	徒歩	

### 4. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可  掲載可

[https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past\\_year\\_all\\_houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/)

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	ひたちなか市内小・中・義務教育学校・中等教育学校教職員	70人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	今後の学校DX化(教育活動全体のデジタル化)については、概略もわからずどのような手だてを講じていけばよいか、認識の共有化がなされていない。学校のDX化推進に伴い実質的なICTツールの日常化(普段使い)が進んできたので、授業デザインの再構築、業務効率向上につなげることが今後の課題となっている。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	学校DX化(教育活動全体のデジタル化)については、概略を理解し、必要な手だてを講じていけばよいかわかる状態。各校で推進に向けたリーダーシップを発揮できること。今後求めていく学習者主体の学びのための、授業デザインについてもアドバイスできること。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	ICTの活用はもちろんのこと学校DX(デジタルトランスフォーメーション)による授業の再構築が、今後の社会を児童生徒が生き抜いていくために、必須であることが再認識できた。大きなプロジェクト型学習だけでなく、普段は小さなプロブレム型学習を展開して、授業者の意識転換(学習者主体の学び)も同時に考えさせる内容でした。	
支援を受け改善又は解決された内容	ICTの活用はもちろんのこと学校DX(デジタルトランスフォーメーション)が、今後の社会を児童生徒が生き抜いていくために、必須であることをよく伝えていただけた内容でした。そして、一方的	

(具体的にご記入下さい)	生徒が主を担っていくために、必須であることをよく伝えていたという内容でした。そして、一方的な伝達の時間だけでなく、アンケートフォームを使った受講者の声をたくさん入れたり、可視化いただき、授業者の意識転換（学習者と双方向性のある学び、学習者の意見を授業にフィードバックする）も同時に考えさせる内容でした。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑤組織業務改善ができた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	探究を軸とした、12年間の学びをデザインすること。高校への接続を意識すること。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケート結果については、講師先生のアカウントで実施しているので、共有待ちです。わかり次第送付いたします。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	各校で学校DX推進に向けたリーダーシップを発揮している推進教師を中心に授業改善に取り組んでいる。	

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。  
なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



